

平成28年度 公共事業事後評価

こぐるみざわ

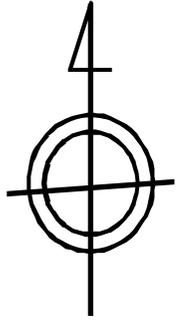
小胡挟沢 通常砂防事業

(藤枝市 岡部町 岡部 地先)

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

小胡挟沢の位置





事業概要

溪流名：小胡挟沢

箇所：藤枝市 岡部町

事業期間：平成19～23年度

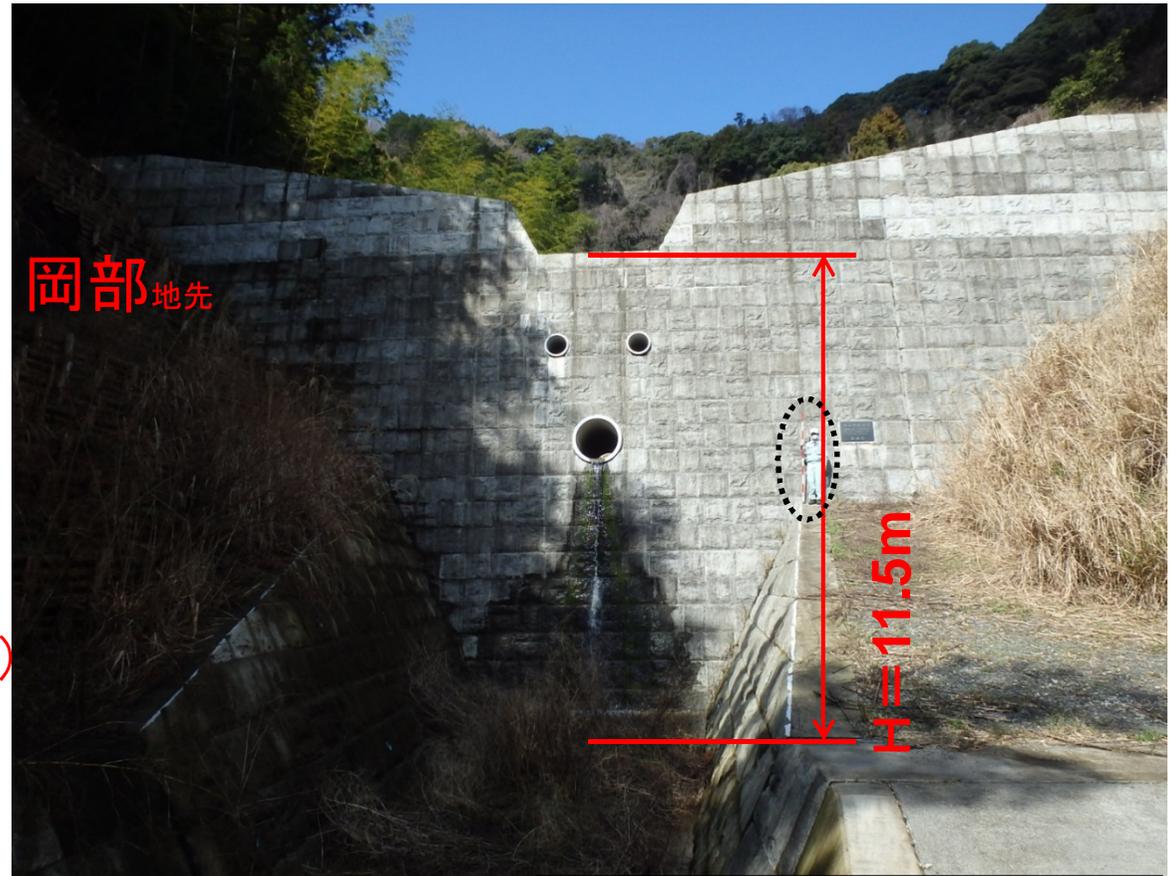
事業費：284百万円

施設概要：

砂防堰堤工 1基(不透過型)

高さ11.5m 堤長41.5m

計画貯砂量 3,379m³



堰堤工(不透過型)下流正面より



堰堤工上流部荒廃状況



H16土砂流出・家屋浸水状況

費用対効果の算出

基準年：当初平成19年、最終平成28年

総便益(B)

☆総便益 当初10.09億円 → 最終15.36億円

□直接被害

- ・家屋被害 21戸
- ・耕地 0.1ha
- ・道路被害 430m
- ・人的被害(逸失利益)

□間接被害

- ・家計における応急対策費
- ・人的被害(精神的損害)

<増加理由>

費用便益分析マニュアルの改訂により、人的被害の算定方式や単価が大幅に変更され、精神的損害額の考え方が明記されたため

総費用(C)

☆総費用 当初1.41億円 → 最終2.60億円

- ・建設費
- ・維持管理費

<増加理由>

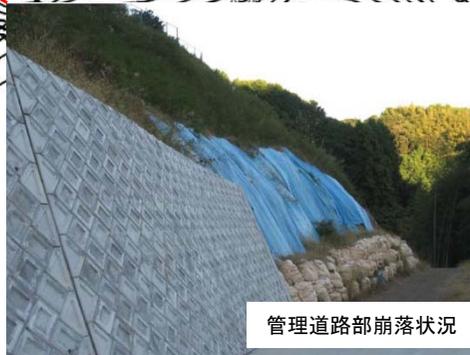
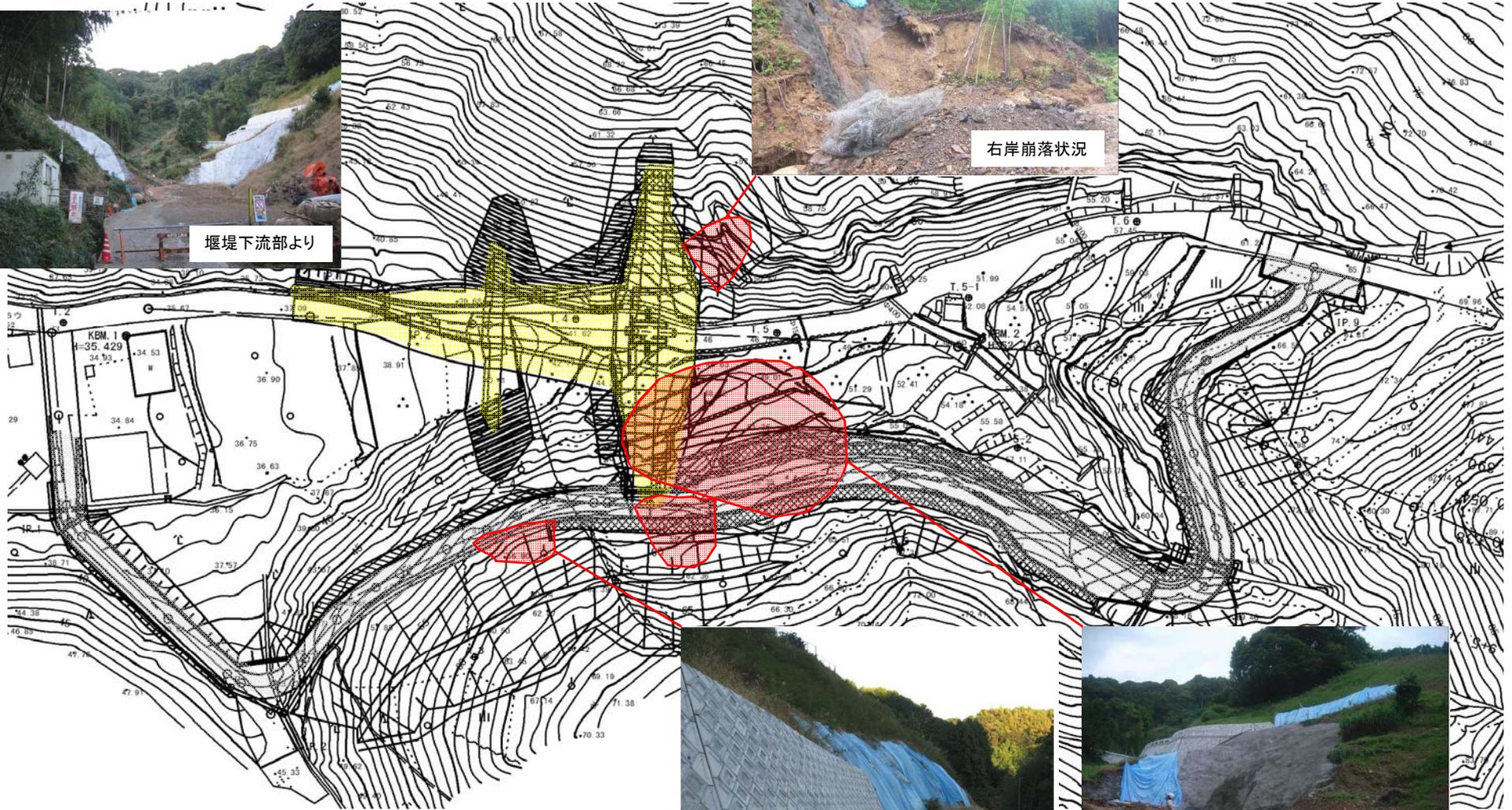
本堤工の位置する地山の表土が想定より厚く、堰堤施工箇所での地山の崩落対策として、鉄筋挿入工やコンクリート吹付工などの法面補強工追加が必要となったため。

費用対効果

B/C : 5.91 (当初 : 7.16)

主な総費用の増額要因

平面図



工種	増額(千円)	増減理由
仮設法面工(右岸)	45,000	仮設切土補強工の追加
管理道路工(左岸)	40,000	法面保護工の追加

事業効果の発現状況

平成23年富士宮市で発生した土石流

白水沢



【効果発現】

小胡挾沢においても堰堤設置により
事業効果が期待できる。



土石流を堰堤で捕捉

平成25年西伊豆町で発生した土石流

ライヤ川:土石流発生前



土石流捕捉状況



土石流

事業効果の発現状況

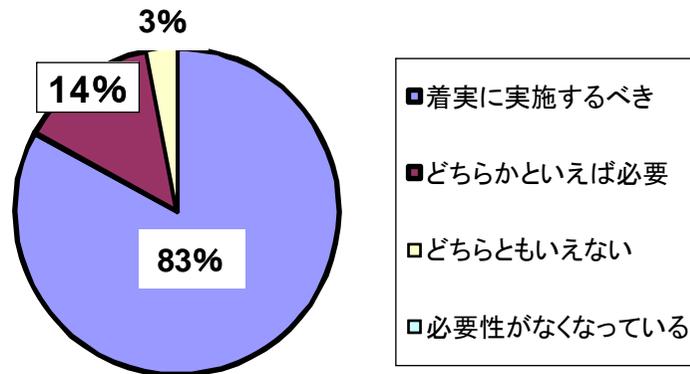
牛ヶ谷地区 自治会長に聞き取り (平成28年3月)

「小胡挟沢」砂防堰堤の評価

「砂防堰堤が整備されたことによって、土砂災害の危険や心配から解放され有り難く思っている。」

アンケート結果

静岡県が行う土石流対策は
今後も必要だと思うか？



97%が土石流対策が必要だと感じている。

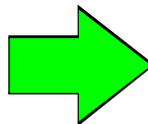
→施設効果が認められ、民生の安定化に寄与。

- ・平成28年3月調査
- ・牛ヶ谷地区に住む住民29世帯を対象に実施
うち有効回答数29世帯

事業実施による環境の変化



袖部施工直後



植生が復元



現在

事業を巡る社会経済情勢等の変化



民生の安定化
地域の土砂災害に対する
安全度が向上



今後の課題と対応方針

事業効果は発現されており、改善措置の必要はない

人的被害をなくすためには、

砂防堰堤の設置(ハード対策)

地域と連携した
ソフト対策の推進
(藤枝市実施)

・土砂災害警戒区域の指定
(平成26年1月10日)



- ・警戒避難体制作り
- ・防災意識の向上

適切な維持管理
(静岡県実施)

- ・異常気象後のパトロール



土砂災害防災訓練



パトロール